

教科	国語	単位数	2単位	学科・学年・コース・組	3学年	特進(5組)コース
使用教科書	高等学校 標準 現代文B (第一学習社)					
副教材等	「最新国語便覧」 (浜島書店)					

1 学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2 学習の計画

期	月	単元	教材	授業時間	学習目標	評価の観点					
						関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解	
一学期	4	随想	「世界を見つめる」 ・ワスレナグサ	4	<ul style="list-style-type: none"> 文章の基本的な流れや主題を把握するための読解力を養う。 随想を読む楽しさを味わう。 	○			◎	○	
		小説	「小説を読む」 ・話を聞かせて	4	<ul style="list-style-type: none"> 小説の構成と物語の展開を理解する。 作品の描写や作者の言語感覚等の作品内の表現に触れる。 	○	◎		○	○	
	5	評論	一学期中間考査 「新しい視点」 ・物語を発現する力	1 4	<ul style="list-style-type: none"> 論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。 書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書く。 	○		◎	○	○	
		詩歌	「詩を味わう」 ・食事 ・ころも ・日本海	1 1 1	<ul style="list-style-type: none"> 近・現代詩の代表詩人の作品に親しむ。 近・現代詩のさまざまな技法、詩形、イメージを学ぶ。 詩の中に織り込まれた、世界認識の方法や枠組みを学ぶ。 	○	◎		○	○	
	6	小説	「小説を読む」 ・ひよこの眼	6	<ul style="list-style-type: none"> 作品の構成、登場人物の心理、人物像を的確にとらえる。 作品の描写や作者の言語感覚等の作品内の表現に触れる。 	○		◎	○	○	
		評論	「新しい視点」 ・思い込みの危険性	5	<ul style="list-style-type: none"> 論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。 本文で取り上げられている事柄を自らの問題として捉え、筆者の主張に対して自分なりの見解を持つ。 	○	◎		○	○	
	7	8	評論	「新しい視点」 ・思い込みの危険性	5	<ul style="list-style-type: none"> 論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。 本文で取り上げられている事柄を自らの問題として捉え、筆者の主張に対して自分なりの見解を持つ。 	○	◎		○	○

二 学 期	9	随 想	「世界を見つめる」 ・食と想像力	5	・様々な文章を読むことを通して、考えを深めたり発展させたりする。 ・文章の中から、そこに書かれた問題点を見つけ、それについて考える心を養う。	○			◎	○
	10	評 論	「生への思索」 ・経験の教えについて 二学期中間考査	4 1	・論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確に捉える。 ・自己の体験や歴史認識の変化などを具体的に考え、生きる上で「経験に学ぶ」ことが非常に重要だということを理解する。	○		◎	○	○
		評 論	「生への思索」 ・〈私〉時代のデモクラシー	4	・論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確に捉える。 ・筆者の主張から、現代社会の問題を理解する。	○			◎	○
	11	詩 歌	「短歌と俳句」 ・折々のうた 二学期期末考査	3 1	・短歌の表現法などの特色を理解する。 ・短歌を鑑賞する態度・方法を学ぶ。 ・作品を探究する態度を養う。	○	◎		○	○
		評 論	「現代と文化」 ・文化とは何か	4	・評論の文章の流れに沿って内容をつかみ、筆者の主張や考えを理解する。 ・文化概念、異文化コミュニケーションのあり方について考えを深める。	○	◎		○	○
	12	小 説	「小説を読む」 ・卒業	8	・小説を読み、より深い鑑賞と読解の仕方をも身につける。 ・登場人物の心情や人物像を理解する。	○		◎	○	○
三 学 期	1	評 論	「現代と文化」 ・新しい博物館学を 学年末試験	6 1	・評論の文章の流れに沿って内容をつかみ、筆者の主張や考えを理解する。 ・筆者の論理的な思考方法を学び、自らの視野を広げる。 ・日常生活の中にある問題に関心を持つ。	○			◎	○
	2	小 説	・山椒魚	5	・個性的な文体に注目し、筆者の批評精神のあり方をとらえる。 ・本作品の現代における意義について理解する。	○		◎	○	○

3 課題・提出物等

- ・各単元において、ノートや確認プリントの提出があります。
- ・定期テストや豆テストを行います。定期テストの範囲については事前に連絡します。ノートやまとめのプリント等から出題します。
- ・本校では校内弁論大会に向けて、全生徒に1200字～1400字程度の意見文を書かせ、発表させています。これは前期の中間考査の配点に加えています。
- ・夏休みの課題として、読書感想文等の作文の提出があります。

4 評価規準・評価方法

評価は次の5つの観点から行います。				
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
理解力・表現力を高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的・課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身につけている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業態度（私語や居眠りをせず、意欲的に授業に参加しているか） ・ ノートやプリント類、課題などの提出物 ・ 各学期に行われる定期考査やその他のテストの結果 以上の項目を参考に、総合的に判断し評価します。				